



## 学校教育アンケート！ ご協力ありがとうございました

12月に実施いたしました学校教育アンケートへのご協力ありがとうございました。83%の保護者の方々にご回答をよせていただき、集計結果の重みをしっかりと受けとめていきたいと考えています。

保ア…保護者アンケート、生ア…生徒アンケート

①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない ⑤無回答

①+②あてはまる（昨年度からの増減）

生ア：「学校へ行くのは楽しい」…77%



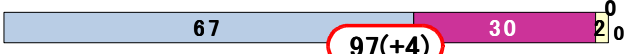
保ア：「学校へ行くのが楽しいと言っている」…77%



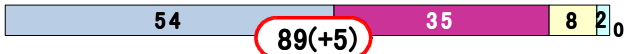
「学校は楽しい」と言っている生徒の割合は少し増え保護者の割合と同じとなりました。

本校の生徒は、素直で真面目な生徒が多く、学校の規則についてしっかり守り、挨拶についても自らできる生徒が年々多くなってきています。

生ア：「学校のきまり・規則をきちんと守っている」…97%



生ア：「自分からすすんであいさつしている」…89%



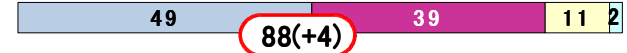
保ア：「子どもは、しっかりあいさつできている」…87%



挨拶については、生徒会等のあいさつ運動や、地域の方々や元気アップボランティアさんとの交流で意識は高いと思います。引き続き自然に挨拶ができるように雰囲気づくりに努めたいと考えています。

また、規律を守る姿勢は、日々の授業のなかでもよく表れており、基礎的・基本的な学習内容の習得につながっています。

生ア：「提出物はきちんと出している」…88%



生ア：「授業や集会では先生や人の話をしっかりと聞いている」…90%



また、「授業中、集中してがんばっている」「基礎的・基本的な内容を十分理解している」は増えており、日々の授業をしっかりと受けて頑張っていることが伺えます。

生ア：「授業中、集中してがんばっている」…84%



生ア：「基礎的・基本的な内容を十分理解している」…75%



「授業はわかりやすい」については、生徒と保護者の差が大きく、「互いの違いを認め合い、個性を尊重しあう教育」についても同様の結果となった。

生ア：「学校の授業は、わかりやすい」…79%



保ア：「実態に応じてわかりやすい授業を行っている」…68%



それ以外の項目でも、保護者アンケートの結果が昨年度より少なくなった項目がいくつかあります。肯定的な回答は70%以上はありますが、昨年より減少した状況を真摯に受けとめ、保護者の方

々に、学校教育の状況をわかりやすく伝えるように、お子さんを通じたり、ホームページや各種よりなどで丁寧にお伝えできればと考えています。

生ア：「違いを認め合い、個性を尊重しあう集団」…86%



保ア：「互いに違いを認め、個性を大切に教育」…73%



保ア：「子どもをよく理解して指導している」…71%



わかりやすい授業づくりについては、今後も継続して推進し、授業力向上のため研究授業や研修会を実りあるものにしていきたいと思っています。

保ア：「家庭学習をする習慣が身についている」…53%



生ア：「1日平均どのくらいの時間、家で勉強していますか」

①2時間以上 ②1時間程度 ③30分程度 ④していない



生ア：「毎日どれくらいスマホや携帯、ゲームをしますか」

①持っていない ②ほとんどしない ③1時間程度 ④2時間以上

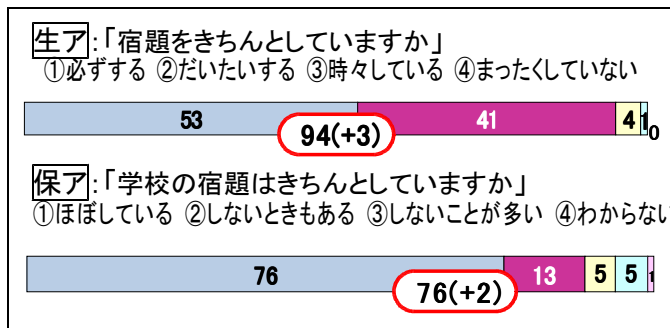


本校の課題として、家庭での学習習慣があげられます。生徒の家庭学習時間では、「していない」と答える生徒は昨年度より減少しましたが、依然として12%あります。また、生徒の半数以上の53%が毎日2時間以上の携帯やスマホなどをしています。年々、使用時間が増加しています。

このことが、家庭学習時間の減少の原因となるだけでなく、健康面やSNS等による人間関係のトラブルにもつながるので心配しています。学校では、「スマホ携帯教室」を実施して、関係諸機関とも連携し生徒に正しい使い方を指導しています。学校の宿題については、している生徒が大多数

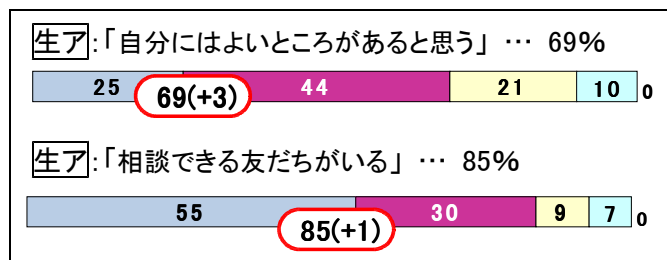
※このプリントは必ず保護者の方に渡してください。

で、毎年宿題をする生徒が増えてきています。宿題ができていない生徒には、学校で補習をしたり、時間をとって仕上げられるようにしてきています。



今後も各家庭のご協力を得ながら、家庭の学習習慣の改善に努めていきたいと思います。

「自分にはよいところがあるか」では、69%と昨年度より増えましたが、依然として全国的にみて低く、生徒たちの自己肯定感、自尊感情が低いと考えています。「相談できる友だちがいる」は、85%と増加しており少し安心することができました。

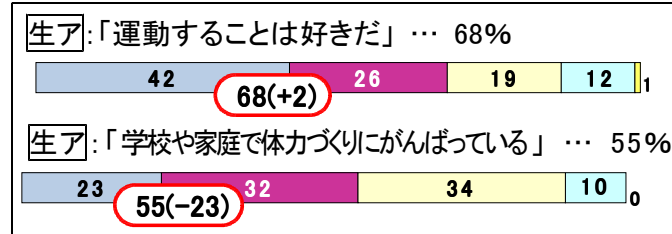


自尊感情が高いと、自分に自信をもち、自分のことを認めてあげることができ、より積極的に様々なことに取り組むことができると思います。逆に低いと、他人の目ばかりを気にしたり、素直に喜ばず、自分を責めたりしまいがちです。

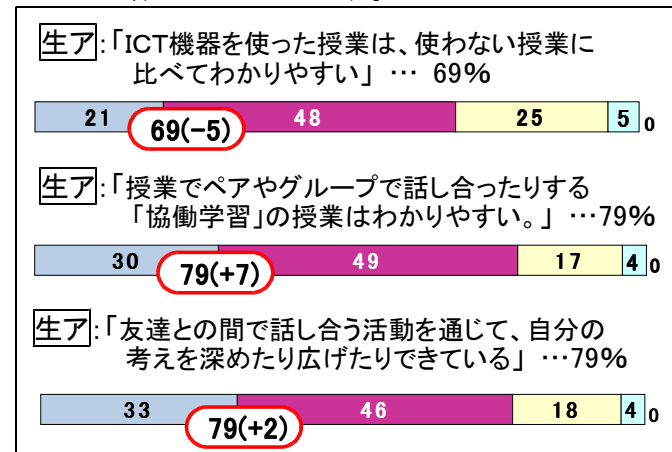
特に人間関係でつまずき、修復に時間がかかる生徒が増えてきているように感じています。生徒たちが、前向きに物事を求めるプラス思考が持てるように支援し、成功体験や成就感がもてるよう、学校行事などで生徒たちが主役となり、仲間と協働して取り組めるようにしていきたいと考えています。

「運動することは好きだ」では、68%と増えてきていますが、日常的に体力づくりをしている生徒が急減しています。スマホなど生活スタイルが変

化していることも要因として考えられます。学校では、体育の授業でしっかり運動する機会をもち、休み時間の外遊びも推奨しています。



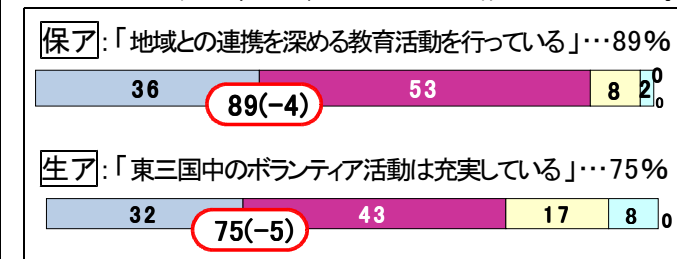
各授業では、ICT機器やタブレットを使った授業や、協働的な学習や話し合う活動を多く取り入れた授業を進めています。



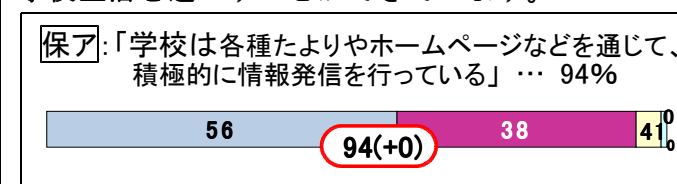
タブレットの活用については、月の学級平均活用数は20回をこえています、生徒たちは職員室前に置いてあるタブレットを、自由に授業に持って行って活用しています。全教室に設置されたプロジェクターなどICT活用は当たり前になっています。「わかりやすい」が5ポイント下がったのは、さらなる活用の仕方の工夫が必要であると思います。新しい学習指導要領の履行にむけ、主体的で対話的な協働的な学習活動は、ここ数年で自然に生徒たちの学習方法として定着してきています。その話し合い活動が授業理解や深い学びにつながるようにさらに研究を進めていく必要があると感じています。

東三国中学校の特色である元気アップボランティアさんによる支援や、ジュニアリーダーの取り組みなどボランティア活動については、高い割合を

示していますが、昨年よりは少し減少しました。



元気アップボランティア事業では、たくさんの地域の方々に登録いただき、毎日、給食支援、図書館支援などに来校され生徒たちと交流を重ねています。また、生徒のボランティア組織「ジュニアリーダー」が結成され、生徒たちは、地域のクリーンウォークなどの清掃活動、防災訓練、地域行事に積極的に参加し活動しています。相互のボランティア活動による多くの人々との交流が、子ども達の情意面を育成させてくれて、落ち着いた学校生活を過ごすことができています。



日々の授業の様子、さまざまな学校行事やボランティア活動の様子は、各種たよりやホームページを通じて積極的に発信しています。

ご家庭の事情で、なかなか学校行事に出席できなかったり、中学生になって思春期となり、なかなか話をする機会が少なくなったと思われることもあると思います。ぜひ、ホームページなどで学校の様子を知っていただき、子どもとの会話の糸口にしていいただければ幸いです。

これらの学校教育アンケートの結果より、東三国学校の良さや課題となる部分について、今後の教育活動に活かしていきたいと考えています。

学校の取り組みや指導が、保護者の方々から「よくあてはまる」と十分な評価が得られますように、今後も全教職員が一丸となり教育活動を推進していく所存です。これからも学校と家庭が手を携えてお子様の健やかな成長をはぐくんでいきますよう、ご家庭のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。